



~“祈り”~

ひろしま国際平和文化祭 応援イベント



花と緑と音楽の
おもてなし

広響名曲コンサート 音楽の花束

春-秋-冬

ソリスト新時代×シンフォニー No.2

「名曲」—それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。

2021年度は輝かしいコンクール受賞歴も持ち今後の活躍が注目されるソリストを迎えます。

後半は実力派指揮者陣による、それぞれの交響曲「第2番」。ぜひ、あなたの大好きな方と一緒にどうぞ。



©K.Miura

秋

©Marco Borggreve



©三浦興一

冬



©TAKA MAYUMI

春

延期公演

2021 11/21[日]

15:00開演(14:00開場)

指揮：現田 茂夫

ヴァイオリン：成田 達輝

シベリウス

ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品47

ベートーヴェン

交響曲第2番ニ長調作品36

平和文化月間イベント

2022 2/6[日]

15:00開演(14:00開場)

指揮：円光寺 雅彦

チェロ：佐藤 晴真

ナビゲーター：假屋崎 省吾

ドヴォルザーク

チェロ協奏曲ロ短調作品10

シベリウス

交響曲第2番ニ長調作品43

2022 3/16[水]

18:45開演(17:45開場)

指揮：黒岩 英臣

ピアノ：北村 朋幹

ブラームス

悲劇的序曲作品81

シューマン

ピアノ協奏曲イ短調作品54

シューマン

交響曲第2番ハ長調作品61

[会場] 広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

料金(1回分)[税込・全席指定]

〔S〕¥4,300(ペア¥6,500) 〔A〕¥3,300 〔B〕¥2,300 (学生¥1,500)

※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

※Pコード、Lコードは公演により異なりますのでご注意ください。※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

◎チケット発売日

[秋]5月17日(月) [冬]11月22日(月) [春]1月17日(月)

◎取り扱い

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

チケットぴあ(Pコード:[秋]193-035 [冬]193-036 [春]206-433)

ローソンチケット(Lコード:[秋]62129 [冬]62135 [春]62830)

主催：広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社

秋公演特別協賛：Enerbo 中国電力

冬公演特別協賛：FRESTA

春公演特別協賛：HFM

お問い合わせ：広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間／平日 9:00～17:20] <http://hirokyo.or.jp>



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

協賛：株式会社 花満・広島県医師会・広島市医師会

広響公式ホームページ▶



広響名曲コンサート 音楽の花束

春・秋・冬

秋

春

指揮：現田 茂夫 Shigeo Genda, Conductor

東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し高評を得ている。また、世界的なチェリスト故ロストロボーヴィチと上皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高評を得ている。オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会での指揮も数多くの公演を行なっている。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督も務め2年ごとに全国公演。11年はアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で「椿姫」を公演。14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出“夕鶴”的全国公演も行い高評を得、16年に再演を行った。また、ベドロッティ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティに富んだ活動を行なっている。

ヴァイオリン：成田 達輝 Tatsuki Narita, Violin

1992年生まれ。札幌で3歳よりヴァイオリンを始める。ロン＝ティボー国際コンクール(2010)エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012)、仙台国際音楽コンクール(2013)でそれぞれ第2位受賞。これまでに、ペトル・アルトリヒテル、オーギュスタン・デュメイ、ビエタリ・インキネンなど著名指揮者や国内外オーケストラと多数共演している。2018年8月と翌2月に韓国で行われた平昌音楽祭に参加し、ソン・ヨルム、スヴェトリン・ルセワラと共に共演。2018年にはミンスクで行われたユーリ・バシュメット音楽祭にも参加している。使用楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ黄金期の“Tartini” 1711年製。(宗次コレクションより貸出)。

指揮：円光寺 雅彦
Masahiko Enkoji, Conductor

1954年東京生まれ。桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウーン国立音楽大学に留学し、オトマール・スワトナー氏に師事する。1981年帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団副指揮者に就任。1986年より同団指揮となり、1991年3月までその任務を務める。

1989年より1999年3月まで、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者としてオーケストラの飛躍的な発展に貢献。1998年5月より2001年4月まで正指揮者を務めた札幌交響楽団との取り組みは、2000年にサントリーホールにおける東京公演を指揮して好評を博すなど高く評価され、2011年4月から2019年3月までは名古屋フィル正指揮者として数多くの名演を共にしてきた。

NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、大阪フィル、広島交響楽団、九州交響楽団をはじめとするほんどの国内オーケストラ、海外では1992年スマーナホールにおけるブルガニア交響楽団定期演奏会への客演をはじめ、1994年BBCチャーチス交響楽団、1995年にはドミトリー・キダエンコからの招きによりノルウェーのベルゲンとフィルハーモニー管弦楽団、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了してきた。

【NHK名曲アルバム】「おーいニッポン」「あなたが主役へ音楽のある街」「あなたの街で夢コンサート」等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続ける。

チェロ：佐藤 晴真
Haruma Sato, Violoncello

現在、その将来が最も期待される新進気鋭のチェロ奏者。2019年、長い伝統と権威を誇るミンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集め。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドミニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位など多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共に演奏を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。NHKテレビ、NHK-FMにもたびたび出演。18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。今後もブルハ放送響など国内外のオーケストラに招かれており、リサイタル、弦楽四重奏など室内楽公演も予定している。20年11月には、名門トイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses ~ブルームズ作品集~』をリリース。現在は、ベルリン芸術大学にてJ-P.マイヤンツ氏に師事している。20年斎藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。

■会場アクセス 演奏会へはできるだけ公共交通機関でお越しください。

JR広島駅から……

【路線バス】所要時間:約20分

南口バスのりばA-3 ホームより、広島バス 24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ

【市内電車】所要時間:約25分

広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分／西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

【タクシー】所要時間:約15分

指揮：黒岩 英臣 Hideomi Kuroiwa, Conductor

1960年桐朋学園大学指揮科入学、故斎藤秀雄氏に師事。在学中は同大学オーケストラを指揮する他、ヴィオラ奏者としてNHK「朝のリサイタル」等に出演。ピアノ奏者としても活動した。同大学弦楽オーケストラのアメリカ公演に指揮者として同行。1965年同大学卒業後修道士となり、10年間修道生活を送った。その間、神学、哲学、ラテン語、グレゴリオ聖歌、ボリューニーを学び、典礼音楽の指揮、作曲を行う。札幌交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団をはじめ、全国の主要オーケストラとの共演も数多く行っており、各演奏会にて高い評価を得ている。自らが敬虔なキリスト教徒というから、宗教音楽に造詣が深く、情熱的な音楽創りが評価されており、オラトリオ、レクリエム、ミサ曲等での名演を重ねている。

2000年には、J.S.バッハ没後250年を記念し東京オペラシティコンサートホールで「マタイ受難曲」を指揮し、「強固な信心に裏打ちされた演奏には、胸を打つ何かがひびいてくる」(音楽の友)と称賛された。1981年から88年まで九州交響楽団常任指揮者、1985年から89年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、1988年から94年3月まで関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者を歴任。2001年から山形交響楽団常任指揮者を務め、2004年から現在に至るまで同団名譽指揮者を務めている。1978年より2016年まで桐朋学園大学にて教鞭を執り、多くの著名な指揮者を育て上げた。

ピアノ：北村 朋幹 Tomoki Kitamura, Piano

愛知県生まれ。3歳よりピアノを始め、浜松国際ピアノコンクール第3位、シドニー国際ピアノコンクール第5位ならびに3つの特別賞、リーズ国際ピアノコンクール第5位、ポン・テレコム・ベートーヴェン国際ピアノコンクール第2位など受賞。第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞(全部門共通)受賞、以来日本国内をはじめヨーロッパ各地で、オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、そして古楽器による演奏活動を定期的に行っている。2020年9月、東京オペラシティ文化財団主催「B→C: バッハからコンテンポラリーへ」における、4台の鍵盤楽器を用いた、ケージの作品を中心としたプログラムによる画期的なリサイタルは「我が国のピアノ演奏史において重要な一夜と言っても過言ではない(伊藤制子)」と高く評価された。2019年からは自身のリサイタル企画「Real-time」を展開している。

録音は「ジョン・ケージ ブリベード・ピアノのためのソナタとインターリュード」を含む5枚のソロアルバムをファンティックから発売、レコード芸術をはじめとする主要紙において好評を得ている。

東京藝術大学に入学後、ベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。伊藤恵、エヴァ・ポブウォッカ、ライナー・ベッカー各氏に師事。現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学に於いて、イエスパー・クリステンセン氏のもと歴史的奏法の研究に取り組んでいる。

冬

華道家：假屋崎 省吾
Shogo Kariyazaki

華道家。Kariyazaki Flower Professional Education School主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎだす手を持つ人」と評され、日本初の「華道家」となり、世界各地で日本伝統文化の「華道」を広める活動にも励む。女子美術大学・客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、着物、ジュエリー、ガラス器、アーティフィシャルフラワー、棺、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、デザイナーとしての才能を発揮。また、ティファーワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展“歴史的建築物に挑む”を開催し、世界各国で個展やデモンストレーションを開催、海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、花を通じた心の情操教育が期待される「花育」や「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活性を促す社会ボランティア活動も積極的に取り組み、2021年華道誕39周年を迎える。テレビ・ラジオ・雑誌・新聞・WEBなど幅広い分野で益々活躍の場を広げている。

